

H30年度 成年後見制度の周知ワーキング 振り返り・評価

H31年2月4日作成

1 今年度の活動について

【今年度の方針】

成年後見制度の適切な活用につながるよう、成年後見制度に関する支援者向け研修会を実施する。

【今年度の取り組み内容】

開催回数	6回	開催月	8月、9月、10月、12月(研修会実施を含む)、1月
------	----	-----	----------------------------

具体的活動内容

- 昨年度実施した「身元引受人(保証人)に関するアンケート」集計の内容・趣旨を再確認し、研修会の目的等を今年度ワーキングメンバーで共有する。
- 研修会の趣旨・目的を確認のうえ、研修会の企画・立案。
- 12/10に研修会を実施。

【今年度の取り組み結果】

(今年度の活動からどのような結果となったのかを記載)

支援者に対して成年後見制度の普及啓発(必要な対象者へ成年後見制度の利用や手続きを進めていくことにつながることを目的とした研修会を、関係機関を対象として実施した。

【取り組みの成果】 ※モニタリングを実施した場合のみ

(取り組みの結果が「どのように地域へ還元できたのか」をモニタリングから確認した内容の記載)

2 今年度の振り返り及び評価について

【今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)】

メンバーが協議会での活動を通じて感じたことや気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、長岡市協議会の運営や体制に関する課題・意見等

- ・方針通りに支援者向けの研修が実施できた。
- ・活動内容が、決まっていたので、動きやすかった。
- ・開催回数や研修までの準備など動きとしては良かった。
- ・ワーキングの事務局、メンバーの大幅な入れ替えがあったことで、経過の確認に重きを置く必要があった。
- ・今年、長岡に赴任し初めてメンバーに入ったが、地域を知る上でも良かったし、参加しやすかった。

【協議会の機能について】

今年度の活動の中で(活動の振り返りから)、どのような協議会の機能があったかを確認する。

※協議会の機能詳細については別紙を参考。

	確認した機能の内容 (どのような部分が機能であったか、なかった場合はなぜなかったか等)
情報機能	・ワーキングで、集まって話をしたことが情報機能。
調整機能	・研修会の中で、相談先を教えてもらったこと。 ・ワーキングに参加することで、メンバー同士のつながりができた。
開発機能	・成年後見制度の普及や周知は、地域移行の課題であり、それに焦点を絞って研修会を企画・実施したこと。
教育機能	・研修会の開催 ・地域移行を支える支援者に対して、制度の知識を広めることができた。
権利擁護機能	・研修会による成年後見制度の普及・啓発ができた。
評価機能	・成年後見制度で、対応できること・できないことの確認ができた。

【今年度の振り返り・協議会の機能から確認できた成果】

※モニタリングによる成果(地域へ還元できたかどうかの成果)とは異なることに留意

- ・研修を通して、支援者に制度の基本的なところは理解してもらえた。
- ・成年後見制度は、万能でないことは当たり前。足りない部分は、インフォーマルな支援でカバーすることが重要であり課題でもあることを支援者として再認識できた。
- ・ワーキングのメンバーも権利擁護としての制度の必要さの再認識ができ、進行中の手続き等を早急に対応するなど意識が高まった。
- ・制度について整理し、家族への説明ができるようになった。

3 来年度の取り組みについて

来年度の継続	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 終了
継続・終了の理由	・H30年度に実施した研修会の効果を確認するためのモニタリングを行う。 研修の参加対象者に成年後見制度の利用促進につながったかを確認する。

※部会を一旦終了とする場合については、運営会議にて協議の判断材料とできるようその理由を明確に記載すること。

今年度の取り組みに対する モニタリングの実施	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	モニタリング実施時期	H 31 年 6 月
---------------------------	--	------------	------------

※ワーキングのみ記載

【振り返り・評価内容を受けて、来年度改善を行うこと】 ※来年度継続の場合

会議内容や方法に取り入れることなど、具体的に記載する。

- ・ワーキングメンバーは、今年度のメンバー。
- ・ワーキング回数は3回の予定。

【来年度の方向性・具体的取り組み内容や引継ぎ事項等】 ※来年度継続の場合

- ・H30年度に実施した研修会の効果を確認するために、参加対象者にアンケートを実施する。
 研修がきっかけとなり制度の手続きを行ったか。行っていない場合の理由、研修会の継続について確認する。
 具体的な内容については、ワーキング内で検討する。
 ワーキング回数は3回。1回目(6月):目的等の確認、 1回目・2回目(7月)アンケート内容の協議
 アンケート実施 3回目(9月):アンケート集計をもとに成果の確認。